

平成26年度事業計画の骨子 障害者支援局

障害者支援局の事業計画は、「第3期世田谷区障害福祉計画」の基本理念を踏まえ、安心して地域で自立した生活を継続できる社会の実現に寄与するために策定している。当法人の強みを積極的に活用し、障害者本人のみならず家族の高齢化へのサポートを法人と連携し、人材・情報などの経営資源を有効的・効果的に活かして、利用者の安定した支援に結びつける。

1、就労支援事業部

① 継続・安定した障害者福祉サービス事業の提供

障害者支援局の基幹施設である世田谷区立玉川福祉作業所の指定管理期間は5年である。今年度が再選定の年にあたる。これまで当作業所は法人理念に則り、「高齢者も障害のある人も、尊厳を持って安心して暮らし続けることができる地域社会の創造」を目指し、利用者一人ひとりが自己実現を図れるよう実践に取り組んできた。かずかずの地域とのかわりを通して、利用者・保護者をはじめ地域や関係機関とのきずなや信頼関係を積み上げてきたと実感している。今年度も障害者福祉に関す

る実績やノウハウを利用者のために生かしてしていく。そのためには、法人本部を中心とした組織と、昨年度受審した第三者評価の結果などを活用していくことが重要である。就労支援事業部の強みと弱みを精査して改善に努める。

② 新規事業の創設

障害者総合支援法の施行にともない、平成27年度から日常生活・社会生活の支援を総合的かつ計画的に行うために、「相談支援事業所」においてサービス等利用計画書の作成が義務づけられ、すべての障害者の福祉サービス決定に反映されることになる。法人としても現在通所している利用者はもとより、障害のある人や家族などの期待に応えるべく「指定特定相談支援事業」の創設に取り組む。

③ 組織及び運営面の再構築

これまで例の少ない事業間のステップアップによる就労移行支援の実績（就労継続支援事業B型→就労移行支援事業）や、他事業所からの異動（生活介護事業→就労継続支援事業B型）ケースなど、利用

者のニーズに応じた福祉サービス事業の提供にできる限り対応していく。世田谷区は平成26年度中に多機能型事業所の見直しを実施し、玉川福祉作業所本園に多機能型（就労移行＋就労継続B型）事業所を置き、等々力分場は就労継続支援事業B型の単独事業になる。今後一層、本園・分場の事業連携を強化する。

2、地域生活支援事業の拡大

障害者の地域移行支援として施設（住まいの場）に対する社会的ニーズが高いことから、法人としてもこの期待に応えるべく、グループホーム設置を検討していく。特に、「借上げ型」の事業展開を目指す。今後、障害のある人たちが高齢化することにより介護・医療のニーズが高まってくる予想される。その対応として外部サービス（成年後見制度・移動支援等）の利用をすすめる。今後は地域移行支援の対象拡大や小規模入所施設等含めた地域における居住支援等のあり方が大きな課題となってくる。

職員の声

他職種から支援員へ

世話人
足立 美幸

8年前、玉川福祉作業所の事務職員として勤務を始めました。当時、利用者と休み時間に話をするのがとても楽しみでした。そして、利用者ともっと関わりたいと思う気持ちが日に日に強くなり、その頃ちょうど障害者のグループホームができるという情報を耳にし、自ら手を上げて事務職員から支援員に転職しました。あれから3年、世話人という立場で仕事をし、実際の対人支援の厳しさを実感しています。そして「ほう・れん・そう」を意識し日々仕事に励んでいます。これからもホームの利用者と真剣に向き合い、身近な存在としてサポートしていきます。

レポート2

玉川地域での連携について

平成21年に、世田谷区地域自立支援協議会玉川エリア部会が発足しました。これは、地域の福祉関係機関が連携し、情報の共有及び協働を図るネットワークです。障害者自立支援法に基づき、障害者が安心して地域で自立した生活を維持することができる社会の実現を目指すため、制度化されました。

玉川地域では、平成18年から、身体・知的・精神の障害施設間で各々のソフト・ハード社会資源の有効活用を図ろうと15施設と地区社協及びオブザーバーとして玉川保健福祉課が参加し、「玉川支援ねっと」が発足していました。

現在は両者が協働し、地域福祉の向上・施設職員の専門性の向上を図るため研修会・事例検討会等を実施しています。今年度は、2月に批准した『障害者権利条約』について、実際の現場でどのような仕組みづくりをするのかを研修で学んでいきます。

その他、同じ地域の利用者同士が知りあう機会を作ろうと、年に1度「野毛青年の家」で「春の交流会」を実施しています。玉川福祉作業所利用者の皆さんも、他施設利用者と名刺交換をしたり昼食を共にしたり、イベント

トに楽しく参加しています。

今後も支援ねっと・自立支援協議会の活動を通して、施設間連携を強め、質の高い利用者支援の向上を目指していきたいと考えています。



みんなで声を合わせて



芝生の上で昼食会

喜多見だんちデイの取り組みについて

喜多見だんちデイは、喜多見団地3号棟の1階にあります。定員10名の小規模デイサービスです。特徴は「ご利用者が主役の昼食作り」です。スーパへの買い物担当、お米をといで炊くご飯担当、食材を切る・焼く・味付ける調理担当、お皿への盛り付け担当、おしぼり・箸・ランチョンマットのセッティング担当など、得意な作業で力を発揮してもらいます。「自己選択・自己決定・自己遂行」を支援して「その人らしさ」を大切にしたい取り組みです。

ともに作る仲間・ともに味わう仲間として、ご利用者と職員の垣根のない交流が喜ばれています。会食では、料理のひと工夫やこだわりなどの話題が飛び交い、笑顔と笑い声にあふれています。

平成23年9月に開所して約2年半が経ちました。今では団地住民の皆さんが、声を掛けてくださいます。「いつも明るいですね」「皆さん楽しそうですね。」ようやく「近所さん」と認められたようで、胸が

今後は、ご利用者と一緒に周辺の清掃をするなど、できることからしていきたいと考えています。高齢の方でも障害のある方でも、社会貢献できることを「喜多見だんちデイ」の取り組みを通して示したいと思っています。そして地域に頼られる事業所を目指していきます。

協力し合って昼食づくり



利用者・職員と一緒に「いただきます!!」

法人後援会「せせらぎ会」活動報告

会長 新井 永子



「地域に根ざした社会福祉」を運営理念として掲げる法人は、地域福祉の拠点となることを目指し、平成14年から高齢者サービス、平成17年から障害者サービス事業を開始、広範な事業運営の充実を図っております。

地元社会に溶け込んで様々な社会福祉サービスに寄与する法人をより発展させたいとの願いから、施設を利用する家族と保護者は平成24年の法人創立10周年を機会に近隣有志の方々にも協力いただき、平成25年5月に法人後援会「せせらぎ会」を正式に設立致しました。

後援会は、法人の事業活動への積極的参加と協力、財政への一部支援、会員相互の親睦促進を通して、社会福祉、地域福祉ならびに法人の充実、発展に寄与することを目的としております。

昨年5月に創立して間もなく1年が経過します。平成26年4月1日現在の残高は、約108万円、個人会員110

名、団体会員6組織となっております。平成25年度の法人への寄贈は実施せず、平成25年度の支出もありませんでした。平成26年度は5月に開催される総会で具体的な寄贈計画と予算が決定する予定となっておりますので、詳細は次号でご報告させていただきます。

平成25年度の活動としては、発足間もない後援会を知っていただくために、玉川福祉作業所の「玉福まつり」、博水の郷「文化祭」に後援会ブースを設け、「小物入れ作品作り」や「バザー」を実施しました。ご家族や保護者、ボランティアの方々、近隣の皆様など、多くの方々がブースに立ち寄り、その存在を知っていただく良い機会となりました。

今後とも私たちは積極的な後援活動を通して法人を支援して参る所存です。多くのご家族や近隣の方々に後援会活動とその趣旨をご理解いただき、皆様方の絶大なるご協力と支援、会員加入を心より願います。



博水の郷「文化祭」での販売会



玉福まつりでの販売会



玉福まつりでの創作活動

法人後援会「せせらぎ会」会員名簿 (アルファベット順・敬称略)

平成26年4月1日現在

◆個人会員

阿久沢佐喜子	小嶋みやこ	中島静麿	緑川美佐子
浅野久美子	小松幹雄	中島孝記	宮下裕司
荒井千恵子	小宮富美子	中村友子	村上康子
新井永子	今野いく子	夏目多起子	室清
荒井ひろ美	坂井祐	夏目達彦	森田裕子
荒木哲郎	佐藤朋巳	根岸和美	馬渡澄子
石野正子	澤野由子	根岸久美	門間正子
井出和子	鈴木昌子	根岸寿子	安田耕平
伊藤恵美子	鈴木崇	根岸喜良	安田生
伊藤清子	関壽子	芳賀佐和子	安田登
岩谷八重子	高井綾子	早川ゆき	安田ハルエ
上田晋之	高比良淑子	林田明美	安田護
大角謙介	多喜貞子	林田繁	矢野弘枝
加治木博子	田中千鶴子	原佳子	山岸久子
片桐恵子	田中英雄	檜垣宮子	山口晃
金井芳子	田中瑞枝	比留間孝子	山口信光
河原寛	塚越尚利	藤木敏子	山口美恵
川道英弘	辻廣子	藤本利治	山崎正子
喜島大道	津田靖久	古川利恵	山下七郎
木村秀男	綱島勝良	松木恵子	山下純子(元)
木村真樹	綱島スエ	松田フミ子	山本聡子
久世まゆみ	角田直子	松村朋子	八本鈴美
久世良三	富張幾久恵	松山正作	渡辺由美子
倉井葉子	富張嘉則	松山俊之	和田雅世
			他14名

◆団体会員

株式会社アイテックス NPO 法人はあと世田谷 カトリック礼拝会
鎌田南睦会 株式会社ファミック 他1団体

◆グループ施設紹介



いろえんぴつ



博水の郷



やまぼうし

小田急線
「喜多見」駅
●
喜多見
だんちデイ

至成城学園

障害者グループホーム
いろえんぴつ
特別養護老人ホーム
はくすい さと
博水の郷

ガソリン
スタンド

グループホーム
やまぼうし

田園都市線「用賀」駅
● 用賀あんしんすこやかセンター

用賀あんしんすこやかセンター相談分室
居宅介護支援事業所・二子のわたし
訪問介護支援事業所・二子のわたし



玉川福祉作業所

玉川福祉作業所
等々力分場



コヤマ
ドライビング
スクール

花みすき通り
ゆめが丘通り
のふの森団

玉川
高島屋
SC

二子玉川駅

至渋谷

東
田園都市線

東急大井町線

大井町線
「尾山台」駅

玉川福祉作業所
等々力分場

至自由が丘

至溝の口

玉川福祉作業所

◆後援会ご入会のお願い◆

- 後援会の会員募集は随時行っています。
- 申込書は各事業所窓口、法人ホームページからダウンロードできます。
- 会員資格は1年更新とし、入退会は自由です。
- 会員口数の上限はありません。
- 会員入会後は本広報誌を2回／年お届けします。

■後援会入会お申込と連絡先

〒157-0077 東京都世田谷区鎌田3-16-6 社会福祉法人大三島育徳会 気付
TEL 03-5491-0340 FAX 03-5491-0343 URL <http://www.oomishima.jp/>
後援会「せせらぎ会」会長 新井永子 事務担当 川道、倉井、坂井、佐藤

個人会員 3,000 円／口／年
団体会員 10,000 円／口／年

◆振込金融機関◆

金融機関 ゆうちょ銀行
口座番号 15181181

せせらぎ 創刊号

発行日 2014(平成26)年5月31日
発行者 せせらぎ広報編集委員会
発行所 社会福祉法人 大三島育徳会
〒157-0077 世田谷区鎌田3-16-6
TEL 03-5491-0340
FAX 03-5491-0343
<http://www.oomishima.jp/>

編集後記

法人の広報誌『せせらぎ』がようやく創刊されるはこびとなりました。法人創設以来14年間、法人の取り組みの報告や社会福祉制度の動向をお知らせする広報誌がありませんでした。今後、社会福祉は地域の課題を把握し、その解決を地域ぐるみで行っていく必要があります。そのためには情報の共有が不可欠だと考えます。この広報誌を通して、皆さまにさまざまな情報や話題を提供してまいります。課題解決の糸口をつかむきっかけとなれば幸いです。お気付きの点がございましたらご意見をお寄せ下さい。